

有志舎の新刊です。2024年1月下旬刊行

# 外征と公議

—国際環境のなかの明治六年政変—

大島明子 著

四六判・ハードカバー・380ページ 本体価格 3,400円

軍事と公議の錯綜した関係から明治六年政変を描き直す。

征韓派も内治派も、中央政府への権力集中をめざし、その手を「公議」によって縛られることを警戒していた点では「同じ穴のムジナ」だった。両派は、なぜ対朝鮮外交をめぐる激突したのか。当時の国際環境と国内情勢の両面から政変の実相を明らかにする。

## 【目次】

プロローグ

1 幕末維新期の外征論と公議論

2 戊辰戦争

3 アメリカ登場

4 新政府の外交と辛未洋擾

5 留守政府の外征政策

6 明治六年政変（征韓論政変）

エピローグ

〈著者紹介〉大島明子（おおしま あきこ）：晃華学園・東京女子大学非常勤講師

～版元から～ 明治六年政変（征韓論政変）は、国内政局から論じられることが多く、その国際環境との関わりについては殆ど解明されてきませんでした。本書はそれを変えていきます。アメリカが新たな東アジア政策を模索するなか、明治新政府は戊辰戦争からの帰還将兵の暴発を怖れて外征へと傾斜していきます。左院や地方官が公議論に基づく立憲制を要求するなかで、外征の主導を画策する薩土肥勢力と、薩長出身者のうちの「開化」勢力が激突したこの政変を、外交・内政の両面から新たに分析していきます。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	外征と公議 —国際環境のなかの明治六年政変— 大島明子 著	日本史 (幕末・維新)
	ご担当	四六判・ハードカバー、380ページ 本体価格 3,400円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-71-2 C1021	

ご注文は (株) JRC へ

FAX: 03-3294-2177

電話: 03-5283-2230

返品条件付注文です。